

## 激して父と人生を論ず・汽車の中にて：短歌

著者	細川，清春
雑誌名	龍南
巻	2 5 0
ページ	4 7 - 4 7
発行年	1942-02-15
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2298/8491">http://hdl.handle.net/2298/8491</a>

田の中を朝を行けばしらぐと霧流れ來て頬にさやれり

姉

我が家より毛絲のジャケツ届きたり夜こめて編みし姉がたまもの

激して父と人生を論ず

吾が部屋にかへりてをれば母に言ふ父が聲きこゆ老い給ひたる  
瘵れ病む父にやさしき言葉ひとつ言へざる我の性を憎むも

汽車の中にて

アメリカにおのが築きし富も家も見捨てゝ歸り來し人老いにけり

故郷に近づきたりし喜びも面には見えず老佗びてをり

友訪へば厳しき運命次ぎくゝて養家の倉に醬油造れり

南の洋乗り越えて東亞開放の日本男子の雄叫轟け

文三甲二 細川清春